

会 議 録

会 議 名 嵐山町立学校統合準備委員会 第7回通学・安全部会						
開 催 日 時	令和8年6月24日(水)			開 会	午後4時00分	
				閉 会	午後4時56分	
開 催 場 所	嵐山町役場庁舎 会議室 204					
会 議 次 第	1 開 会 2 あいさつ 3 議題 (1) STEP3 バス利用者に関する情報と意見の整理 4 その他 5 閉 会					
公開・非公開 の別	公 開			傍聴者数		なし
非公開の理由 (非公開の場合)						
委員出欠状況	部 会 長	関口幸愛	出	委 員 (部会長サポ-ト)	田嶋直美	出
	委 員	八木原夏実	出	委 員	須川 優	出
	委 員	安藤淳之介	出	委 員	関根盛敏	欠
	委 員	石森奈通子	出	委 員	高田 恵	出
	委 員	高橋悠里	出	委 員	服部朋秋	出
	委 員	松本主税	出	委 員	清水 進	出

	委 員	荒川 統 (代理 時田友斗)	出	委 員	林 雄一 (代理 齋木裕樹)	出
	委 員	田中 守 (代理 溝上智恵子)	出			
教育委員会 職員出席者	教 育 長	下村 治	学校統合推進 課長	久保哲也		
	学校統合推進課 副課長	清水雅也 (司会・進行)	学校統合推進課 主 任	吉野祐介		
	指導主事	神田貴裕				
次 第	て ん 末					
1 開 会	教委 (司会)	開会宣言				
2 あいさつ	関口部会長	本日はお忙しい中ありがとうございます。 色々資料を見ながら、協議を進めていければと思います。				
3 議題		関口部会長が議長となり、議事を進行				
(1) STEP3 バス 利用者に 関する情報 と意見の整理	教委	スクールバス導入に向けての方向性を説明(資料 1~2 頁)				
	関口部会長	説明が終わりました。何か質問や意見等がありますか。				
	安藤委員	現在の想定では、町北部のバス停留場所が七郷小学校だけのため、自宅から停留場所までが非常に遠い小中学生が発生する可能性があります。北部にもう 1 箇所くらい停留場所を設定してもよいかと思います。				
	教委	本議題の記載内容は、STEP2 で寄せられた意見を整理したものを可視化したものです。今後、議論を進めていく中で、地区の集会所などを停留場所にする選択肢なども出てくるかと思います。このようにして、様々な意見をいただきながら、運行方針を固めていきたいと思います。				
	清水委員	バス停留場所について、志賀地区は志賀小学校よりも北部に位置する集会所に設定してください。 また、バスの座席は、自由席ではなくて、指定席が望ましいと思います。				
	安藤委員	私も指定席が望ましいと思います。 後部を高学年、前方を低学年にすることで、昨今問題となっている置き去り事故なども防げるのではないかと思います。				

	清水委員	資料の中で、「利用人数が多いときは、1台2便も視野に入れる」とありますが、1便目と2便目とで時間差が大きいので、実現性は低いと思います。
	安藤委員	小学生と中学生とで下校時間が大きく変わる場合などに1台2便で対応するなど、1台2便の可能性は残しておいたほうが良いと考えます。
	清水委員	1台2便とした場合、1便目と2便目でどのくらいの時間差が生まれますか。
	教委	40分は見込む必要があると思います。
	清水委員	小学校低学年と高学年で始業時間を変えることは可能ですか。低学年と高学年とで分けて運行できれば、1台2便でより多くの小学生を乗車させることが可能だと思います。
	田中委員 (代理 溝上)	小学校低学年と高学年とで始業時間を変えるのは現実的ではないと思います。理由としては、休み時間や掃除の時間、給食の時間など、全学年が揃わなくてはならないタイミングが1日の中で何回もあるからです。一方、小学校の1単位時間が45分、中学校の1単位時間が50分の設定であること、小学校のみ業間休みと呼ばれる長い時間の休み時間があることなど、小学校と中学校とでカリキュラムが異なることから、小学校と中学校とで始業時間を変えることはできるかもしれません。
	服部委員	一つだけ要望させてください。 令和7年12月21日、県土整備事務所の主催により、県道深谷嵐山線の菅谷地区と滑川町の一部に片側3.5mの歩道を設置するという住民説明会がありました。次回の会議以降に、その後の進捗状況を報告していただけますか。
	教委	確認して報告します。
	服部委員	説明会冒頭の挨拶の中で、県土整備事務所の副所長様から「嵐山町の小学校と中学校が統合されるので、そのために歩道を設置させてほしい」という発言がありました。滑川町住民の方から「どうして嵐山町のために土地を削られなくてはならないのか。私は譲らない」ということを言っている方もいるようです。 また、県土整備事務所は「用地買収が完了した場所から歩道を整備する」と回答していました。必ず学校統合時まで完了させるという回答ではありませんでした。学校統合時に、部分的に歩道が整備されていない状況にならないよう、情報共有をしてもらいたいと考えます。

	教委	現段階では県から情報が入ってきていませんので、次回会議までに確認し、報告します。 確かに、説明会の冒頭にそのような発言がありましたが、町としては、複数の箇所の整備を要望し、その中から県の判断で今回の整備の箇所が決まった、という経緯があります。実際、教育委員会としても、説明会の直前に歩道整備の決定を知りました。 毎年、通学路に関連する場所だけでなく町民が広く使用する道路などの整備も県に要望しています。ただし、これは県の事業であり、整備を決定するのは県となります。今回は、新校開校にあたり整備を要望したところ、県が受け取ってくれた、ということになります。 他方、沿線の住民の方々の生活への影響も大きい事業ですので、町としても高い関心を持っていく必要があると思います。次回会議で進捗状況の報告や情報の共有などをしていきたいと思います。
	清水委員	町南部への通学支援はどうなりますか。
	教委	町南部への通学支援については、本議題とは別の問題として、別の機会に取り上げる予定です。
	教育長	バスの停留場所について、ここがいい、ここが危ない、などの考えがあればお聞かせください。
	服部委員	まずは町有地を挙げてみてはいかがでしょうか。
	安藤委員	人の出入りがあって、車両の出入りが少ない場所が望ましいと思います。 一方、停留場所まで保護者が車で送ってくることを考えると、車の進入路などが確保できる場所がいいと思います。
	関口部会長	それでは、いただいた意見を検討材料として進めていきたいと思います。
4 その他	教委	「SAFE TOWN DRIVE in 嵐山」作成マップの紹介
5 閉 会	教委	閉会宣言

以上、会議のてん末を記載し、その相違なきを証するため、ここに署名する。

令和 8 年 7 月 15 日

部会長

関口幸愛

嵐山町立学校統合準備委員会 第7回通学・安全部会 会議次第

日時 令和8年6月24日(水)16時から

場所 嵐山町役場庁舎 会議室204

1 開会

2 あいさつ

3 議題

(1) STEP3 バス利用者に関する情報と意見の整理

4 その他

5 閉会

「STEP2 スクールバス導入に求めることは?」から導き出される

スクールバス導入に向けての方向性(仮)

STEP2 で委員の皆さんからいただいたご意見をもとに、運行方針(案)の方向性を「教育委員会の見解で」整理しました。ご意見をお聞かせください。(事前にご自身の考えをまとめておいてください)

観点	STEP2 協議内容		運営方法	バス車両	停留場所と利用対象	ルート	委員意見
安全性	【教育委員会】 ・安全に走行、乗降できる ・狭い道路でも安全走行できる ・交差点、見通しの悪い場所でも安全確認できる ・事故発生時の安全確保 ・運転士の健康状態や運転技術を管理できる ・日常点検や整備を適切に実施できる ・荒天時の適切な運行判断 ・防犯対策 ・置き去り防止対策	【通学・安全部会】 ・乗車中の傷病等に対応できる ・停留場所の安全を確保できる(通学時間帯のコンビニ駐車場は混雑していて危険)(ルート候補・停留所候補の確定後に具体的な安全策が必要)(バス停の設置、地区の集会所で地域住民等が小中学生を受け渡す、などの案) ・自宅～バス停留場所の安全な移動手段を確保できる	【業者委託】 プロの業者に委託することで、運転士の確保や代替車両の対応といった「確実性」と、日常点検や置き去り防止といった「安全性」をクリア。 業者委託の中でも	【マイクロバス3台】 (27名×3台=81名) 狭い道路でも安全に走行、車両故障時にも代車対応可能(中型バス以上の代車手配は困難)、ルート分散による短時間乗車、細かな停留場所の設定、不測の事態にも対応可能、などメリット。 年間予算 2,000 万円を基本にできるだけ多くの定員を確保。2 台の場合と比較すると「車両維持費」と「人件費」がかかるけど、3 台にすることで「安全性」と「確実性」をより強固にもできる!	待機場所の安全性を確保しやすい。停留場所までの道のりも慣れた通学路で安心。停留場所が混雑することもないから危険も少ない。保護者が送迎する場合の駐車場所も安心。 この停留場所なら	設定した停留場所を通る【国道 254 号から進入出するルート】 ⇒徒歩通学者、自転車通学者の安全を確保	
確実性	【教育委員会】 ・毎日安定して運行できる ・必要な運転士を継続的に確保できる ・欠員時にも代替対応できる ・故障時にも代替車両を確保できる ・渋滞や積雪などでの遅延による学校運営への影響を最小限に抑えられる ・特定車両への依存を避けて運行できる ・安定した運行体制を構築 ・長期間継続して運行できる	【通学・安全部会】 ・バス遅延時の各停留場所への連絡手段を確保できる ・「安全性」と「確実性」を重視する場合、町直営ではなく業者委託となる		購入するものは	出費を抑えるため		
経済性(持続可能性)	【教育委員会】 ・継続可能な費用で運行できる ・燃料費や維持費を抑制できる ・車検や整備を効率的に実施できる ・将来的な物価や人件費上昇に対応できる ・限られた財源の中で安定運行できる ・補助金を活用できる	【通学・安全部会】 ・運行費用を抑制できる(停留場所を集約してルート短縮する案) ・「確実性」を重視すると「経済性」は失われる ・「安全性」の次に「確実性」を重視するのか「経済性」を重視するのかによって方向性が変わる	【一部委託】 バス車両を町で所有して長期運用することで「経済性」に貢献 バス購入時に補助金も使える	より多くの小中学生を利用させる場合、「1 台 1 回転(1 便)」から「1 台 2 回転(2 便)」に増便させることも視野に入れる ⇒少ない出費でより多くの小中学生が利用可能に	【七郷小学校】(もしくは北部交流センター) 【玉ノ岡中学校】(もしくは杉山公民館／杉山城跡駐車場) 【志賀小学校】(もしくは志賀 1 区集会所) に停留場所を集約 停留場所は「初期設定」のため、まだまだ変更可能(アイデアお待ちしています)	そうなると利用者は	
その他	【教育委員会】 ・学校日課に対応できる ・地域の理解を得られる			人数が多いときは	停留場所に集合できる小中学生のうち、次の優先順位で利用者決定 ①七郷小学校区と志賀 1 区北部の小中学生、自宅からの通学距離 6km 以上(修正しました)の中学生 ②バス乗車の配慮が必要と思われる小中学生 ③それ以外の遠距離通学者(遠距離順)		

スクールバス 運行ルート・ダイヤ シミュレーション

※決定ルートではありません

【想定条件】 ※決定事項ではありません

- 七郷小学校区(39人)と志賀1区北部(6人)の小学生、古里・吉田・越畑・勝田地区の中学生(31人)が乗車希望(76人)
- マイクロバス(乗車可能人数27人)3台
- 登校便／下校便 各1便
※下校時間が分散するため、下校便は全便とも各停留場所に停車(学童保育室利用者もいるため、登校便利用者＝下校便利用者とは限らない)

七郷小学校
(北部交流センター)

玉ノ岡中学校
(杉山公民館／杉山城跡駐車場)

志賀小学校
(志賀1区集会所)

嵐山町役場庁舎

武蔵嵐山駅

武蔵嵐山小学校
武蔵嵐山中学校

登校便

下校便

登校便 (一例)	嵐山町役場		七郷小学校 (北部交流センター)		玉ノ岡中学校 (杉山公民館／ 杉山城跡駐車場)		志賀小学校 (志賀1区集会所)		武蔵嵐山小・中
	発		着	発	着	発	着	発	着
1号車	7:30		7:40	7:45	—	—	—	—	8:00
2号車	7:30		7:40	7:45	7:50	7:55	—	—	8:05
3号車	7:35		—	—	7:40	7:45	7:50	7:55	8:05

下校便 (一例)	武蔵嵐山小・中		七郷小学校 (北部交流センター)		玉ノ岡中学校 (杉山公民館／ 杉山城跡駐車場)		志賀小学校 (志賀1区集会所)		嵐山町役場
	発		着	発	着	発	着	発	着
1号車	15:00		15:15	15:20	15:25	15:30	15:35	15:40	15:45
2号車	15:45		16:00	16:05	16:10	16:15	16:20	16:25	16:30
3号車	18:00		18:15	18:20	18:25	18:30	18:35	18:40	18:45

令和11年度 児童生徒数予測(武蔵嵐山小学校・武蔵嵐山中学校開校時予測)

住基データ取得日 令和8年4月2日

※住民基本台帳から抽出した人数の為、実際の在籍者数と異なる場合があります。

○大字別

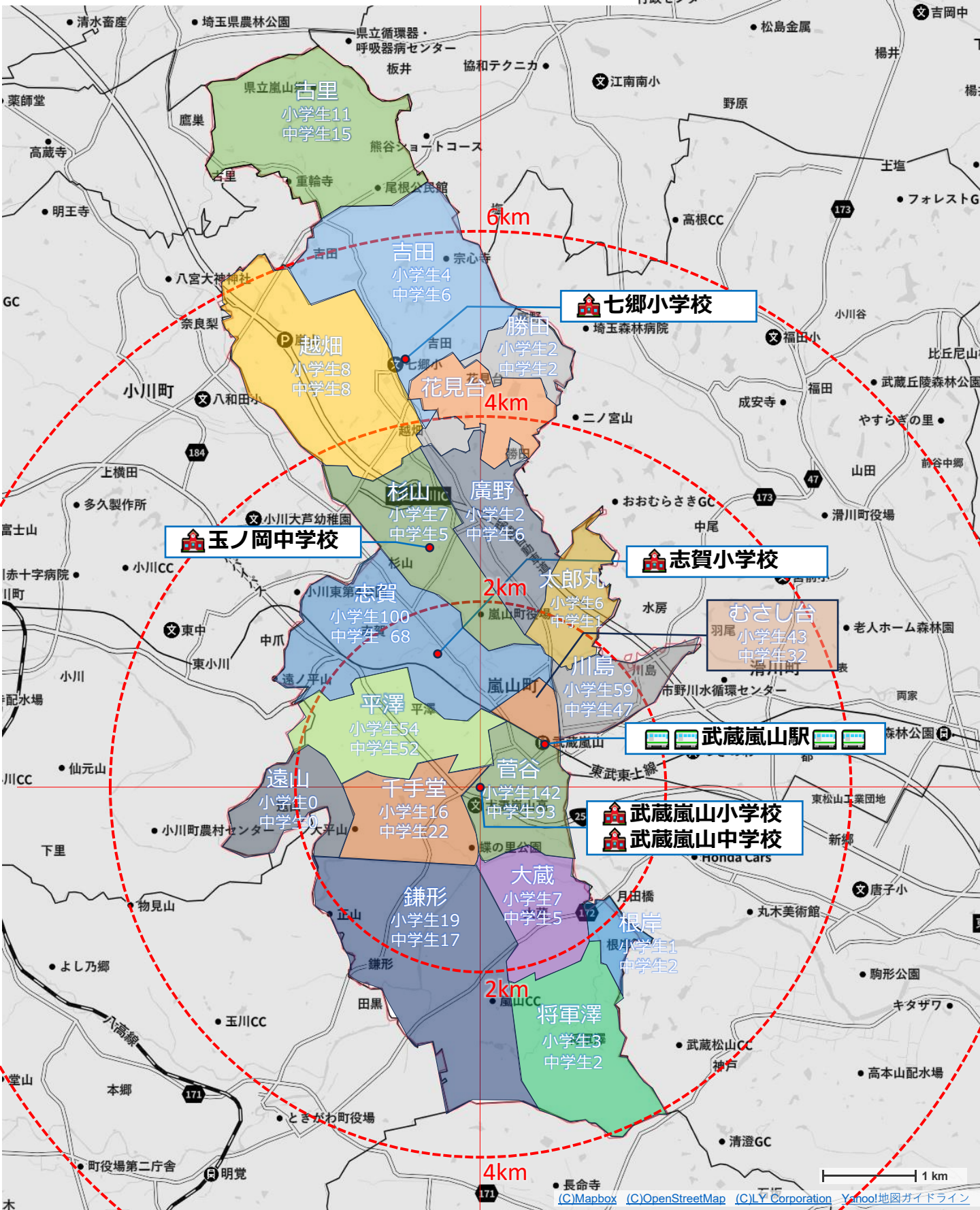
学年	小1			小2			小3			小4			小5			小6			小学校計			中1			中2			中3			中学校計		
菅谷小	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
菅谷	7	7	14	16	14	30	13	15	28	13	14	27	8	7	15	15	13	28	72	70	142	17	16	33	13	13	26	17	17	34	47	46	93
川島	3	4	7	4	5	9	5	5	10	3	4	7	4	4	8	5	8	13	24	30	54	4	5	9	7	11	18	7	8	15	18	24	42
志賀		1	1					1	1				1	1	2		1	1	1	4	5		1	1	1		1	1	1	2	2	2	4
平澤	2	4	6	4	5	9	5	2	7	6	3	9	8	3	11	7	5	12	32	22	54	8	3	11	11	7	18	10	13	23	29	23	52
遠山																																	
千手堂		1	1	2	2	4				4	1	5		4	4	2		2	8	8	16	4	7	11	3	4	7	3	1	4	10	12	22
鎌形	2	1	3	3	1	4	2	1	3	1	2	3	1		1	2	3	5	11	8	19	1	5	6	3	2	5	3	3	6	7	10	17
大蔵					1	1	1		1							3	2	5	4	3	7	1	1	2		3	3				1	4	5
根岸																1		1	1		1				1		1		1	1	1	1	2
将軍澤							1		1		1	1	1		1				2	1	3		1	1				1		1	1	1	2
計	14	18	32	29	28	57	27	24	51	27	25	52	23	19	42	35	32	67	155	146	301	35	39	74	39	40	79	42	44	86	116	123	239

七郷小	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
古里	1		1				3		3	1		1	3		3	1	2	3	9	2	11	4	1	5	3	3	6	1	3	4	8	7	15
吉田					1	1								1	1	2		2	2	2	4		1	1		2	2	1	2	3	1	5	6
越畑	1	1	2								1	1	1	2	3		2	2	2	6	8	1	1	2	1	3	4	1	1	2	3	5	8
勝田				1		1								1	1				1	1	2		1	1		1	1				2	2	
廣野							1		1							1		1	2		2	1		1	2	1	3	1	1	2	4	2	6
杉山	1		1	2		2		1	1							1	1	2	4	2	6		1	1	1	1	2	1	1	2	2	3	5
太郎丸		1	1					1	1					2	2	2		2	2	4	6								1	1		1	1
計	3	2	5	3	1	4	4	2	6	1	1	2	4	6	10	7	5	12	22	17	39	6	5	11	7	11	18	5	9	14	18	25	43

志賀小	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計
川島	1		1				1		1		1	1					2	2	2	3	5	1		1	1		1	2	1	3	4	1	5
志賀	7	4	11	10	12	22	7	6	13	9	5	14	16	6	22	9	10	19	58	43	101	6	10	16	16	12	28	12	10	22	34	32	66
杉山													1		1				1		1												
太郎丸																																	
むさし台	4	1	5	3	4	7	3	3	6	6	5	11	2	6	8		6	6	18	25	43	6	3	9	4	6	10	7	6	13	17	15	32
計	12	5	17	13	16	29	11	9	20	15	11	26	19	12	31	9	18	27	79	71	150	13	13	26	21	18	39	21	17	38	55	48	103

合計	29	25	54	45	45	90	42	35	77	43	37	80	46	37	83	51	55	106	256	234	490	54	57	111	67	69	136	68	70	138	189	196	385
----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	----	-----	-----	-----	-----	----	----	-----	----	----	-----	----	----	-----	-----	-----	-----

令和11年度 児童生徒数予測MAP



嵐山町内全域通学路MAP

